

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所等)

1 評価機関

名 称	合同会社福祉経営情報サービス
所 在 地	東京都中央区銀座6-6-1銀座風月堂ビル5階
評価実施期間	2025年8月1日～2025年11月28日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	チャレンジキッズ第二おおたかの森園 チャレンジキッズダイニオオタカノモリエン		
所 在 地	〒270-0128 流山市おおたかの森西1-22-5		
交通手段	流山おおたかの森駅西口から徒歩約8分		
電 話	04-7128-8361	F A X	04-7128-8362
ホームページ	https://challengekids.info/		
経 営 法 人	株式会社C・B・H		
開設年月日	2020年4月1日		
併設しているサービス	AED設置施設		

(2) サービス内容

対象地域	千葉県流山市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	9	12	12	15	15	15	78		
敷地面積	826.45㎡			保育面積			314.62㎡		
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	身体測定(毎月) 内科健診・歯科検診実施(年2回)								
食 事	自園調理提供								
利用時間	標準時間 7:00~18:00 短時間 8:00~16:00 延長保育18:00~20:00まで								
休 日	日曜日 国民の祝日に関する法律に規定する休日 年末年始12月29日~1月3日								
地域との交流	介護施設(アミカの郷) 小学校(おおぐろ小学校)								
保護者会活動	運営委員会 年2回実施								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	21	10	31	
専門職員数	保育士(幼稚園教諭含む)	看護師	栄養士	
	29	0	1	
	保健師	調理師	その他専門職員	
	0	2	1	

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	市役所へ必要書類提出		
申請窓口開設時間	市役所開所時間に準ずる		
申請時注意事項	入園内定者には、入園前面談を実施。保育園利用に関して説明。		
サービス決定までの時間	毎月20日ごろ審査結果通知		
入所相談	流山市役所保育課、または各保育園にお問い合わせください。園見学も随時受け付けています。		
利用代金	らくらくセット5,500円、正課プログラム1,700円(幼児クラスのみ)		
食事代金	給食費6,500円(おやつ代含む)		
苦情対応	窓口設置	あり	苦情解決責任者 早川朋宏
	第三者委員の設置	あり	流山市民生委員、児童委員

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p><基本理念> 「やってみようの心」をはぐくむ</p> <p><保育方針> 家庭や地域社会と連携を図り、保護者の協力のもとに家庭養護の補完を行い、健康、安全で情緒の安定した生活ができるように環境を整え、自己を十分に発揮しながら活動できるように、健全な心身の発達を図る。 ①園外保育では、自然や生き物と触れ合うことで、自然の偉大さや面白さを体験し、豊かな感性を育てていく。 ②運動や創作活動など、集団生活の中で規律を守ることを覚える。 ③多くの物事に直接触れ、実際に体験し学ぶことで、好奇心を豊かにし、将来の学習意欲の向上に繋げる。 ④子どものありのままの個性や人格を受容し、子どもとの信頼関係を築く。 ⑤子どもにとって幸せが家族と共にあることを大切に、保護者との密接な関わりの中から、子どもにとって一番いいものを提供する。</p>
<p>特 徴</p>	<p>チャレンジキッズのプログラムは【ハンガリー式流れる保育】【ハンガリー式課業】【外部講師による英会話・体操教室】で構成され、子ども達はこれらの体験を積み重ねながら、園での生活や遊びを通して学びを深めます。</p> <p>「非認知能力」と「自己肯定感」は、多種多様に变化する時代を乗り越えていくための大きな力となります。0～6歳それぞれの成長段階にあわせたプログラムで、自己肯定感を育みます。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>チャレンジキッズの特色</p> <p>1. 一人ひとりの個性を尊重する家庭的な保育 乳児保育では一斉保育を行わず、食事や着替えは園児1～2名ずつ丁寧に行っています。また幼児保育(課業)においても学校のように強制参加はさせません。 わがままやマイペースを認めるということではなく、お子様たちが、「楽しそう」「何をやっているのかな」「やってみたいな」と思えるように働きかけ、全員が自ら参加したいと思える環境をつくることを心がけています。</p> <p>2. 流れる保育を実践(ハンガリー式乳児保育) 一斉保育を行わず、お子様一人ひとりの意欲や思いをくみ取った保育プログラムを実践しています。例えば、好きなおもちゃを自由に手に取って満足するまで遊べる環境をつくります。(ハンガリー式コーナー設置)</p> <p>3. 遊び＝学び「課業」の取り組み(ハンガリー式幼児保育) 課業は、体操・環境認識・文学・わらべうた・美術・数の6つの領域から構成した活動です。チャレンジキッズでは、月ごとに保育者がお子様知ってもらいたいことや感じてもらいたいことをテーマとして掲げ、6つの領域の活動を行っています。 基本的に課業への参加は任意ですが、お子様たちが「楽しそう」「何をやっているのかな」「やってみたいな」と思えるように働きかけることで、自らの意思で参加したいと思える環境を実現。こうした取り組みにより、お子様たちの「先生は次にどんな楽しいことを教えてくれるのかな」という期待に結びつき、学びに対する意欲が高まります。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

<p>特に力を入れて取り組んでいること</p>
<p>職員がハンガリー式保育を継続して学び、現場において実践している</p>
<p>ハンガリー式保育を導入し、園独自のプログラム保育を実践している。0～2歳児は担当制で「流れる保育」を行い、子ども個々の生活リズムに合わせた日課を作成し、1対1、1対2で関わることで保育者との信頼関係を深め、子どもが安心して過ごせる環境を提供している。各クラスでは日課を基に保育の流れが考慮されており、穏やかなトーンでの声掛けや応答的な関わり等、一人ひとりと丁寧に接する様子が見られる。3～5歳児は「課業」を取り入れ、各クラスで例えば「天気」など、その月のテーマから興味を広げ、調べ、考え、観察して皆でつくる等、遊びを通して学びにつながる活動を実施している。</p> <p>職員はハンガリー式保育のメソッドを学び、さらに研修で学びを深めることを継続しており、保育の現場においてハンガリー式保育の考え方が定着している。</p>
<p>毎月のテーマに沿った活動の中で、子どもたちは興味を広げ、自由な発想で遊びを展開している</p>
<p>子どもが何かを「やりたい」と発した時に、それを実現するための準備を保育者が検討し環境を整えている。例えば、3歳児以上のクラスでは稲を栽培し、土の掘り起こしから種まきまで子どもたちで行い、草花を育てる経験を取り入れている。保育室には子どもたちが作成した稲の栽培の観察記録を掲示する等、体験を通して植物が育っていく様子を学んでいる。また、5歳児クラスには木の枝が吊るしてあり、製作したカブトムシやクワガタなど飾ったりしており、月ごとのテーマなどに沿って子どもたちの興味と関心を深め、経験する仕掛けとして様々な環境設定の工夫がされている。その環境の中、子どもたちは自由な発想で遊びを発展させている。</p>
<p>保育の「見える化」に取り組み、子どもの姿を積極的に伝えて、子育ての共通認識を高めている</p>
<p>今年度から保育の「見える化」に力を入れており、ブログやSNS、保護者に向けた毎日の配信等、園からの情報発信力を高めている。また、その一環で「オープン参観」を今年度から開始している。「オープン参観」は月に4回、保護者が自由に保育参観できる取り組みであり、月4回の参観日とは別に体操や英会話指導の時も参観が可能である。子どもやクラスの様子、活動内容、保育環境を直接確認できる機会になっており、多くの保護者の参加がある。保育参観やSNS・ICTを活用した配信など、保護者に園の保育や子どもの姿を積極的に伝えることで、園の保育についての理解を深め、子育ての共通認識を高めている。</p>
<p>万全のアレルギー対策により、皆が同じ献立、同じ場所で食の楽しさを味わえるよう配慮している</p>
<p>「安全な環境のもと、一人ひとりに寄り添ったかたちで食の成長を支えたい」という思いから、三大アレルギー(卵、小麦、乳)を使用しない給食を提供し、子ども全員がアレルギーの垣根がない環境で楽しく食事し、また、食を学べる環境にしている。食事の時間は食べられたことへの満足感や喜びを感じられるように声かけを行う等、子どもが意欲的に食べようとする気持ちを育てることを心がけている。</p> <p>ランチルームには大きな日本地図が壁一面に掲示され、その横に毎月提供されている郷土料理の写真が掲示されている。様々な食事を楽しむ中で、子ども達が、地理や地域、食文化など、「日本」のことに興味を持ち、知る、学ぶことへのきっかけ作りが行われている。</p>
<p>1時間単位の有給休暇の導入などにより、働きやすい職場環境づくりを推進している</p>
<p>ICTの導入による事務の効率化を実施し、業務負担を軽減している。また、人員配置についてエリア内にある3園(本園・分園・第二園)で調整をしたり、休憩時間の工面をして効率的に話し合う時間をつくっている。年次有給休暇の取得率は100%を実現しているほか、1時間単位の有給制度を取り入れるなど、柔軟な働き方ができるようワークライフバランスの推進にも取り組み、職員がやり甲斐や充実感を持てるよう働きやすい職場環境づくりを推進している。</p>

さらに取り組みが望まれるところ
<p>地域の子育て支援については出来ることから開始する等、今後の取り組みに期待したい</p> <p>近隣の子育て支援については、実施の意向があるものの実現できていない状況であり、園では他園の取り組み事例なども参考に検討を続けているところである。保育園は地域の子育て家庭に対する支援の役割を担うという事も念頭に置き、まずは、園の持つリソースを生かしてできる事から開始するなど、着手することを期待したい。</p>
<p>現在の取り組みを、子育てに関する語り合いや学ぶ機会へと発展させていけるとよい</p> <p>保護者アンケートの「子どもを理解し子育てについて語り合い、学ぶ機会などがありますか」の項目については、「はい」の回答率が比較的に低い結果であった。懇談会や面談の設定が無いことが理由として考えられるが、今年度から開始された「オープン参観」により状況が変わり、また、期待する意見も見られている。現在力を入れている保育の「見える化」の取り組みを、子育てに関する語り合いや学ぶ機会へと発展させていくことができると良い。</p>
<p>経営計画、事業計画のPDCAを確立できるよう、具体的なアクションプランの策定までを期待したい</p> <p>法人を取り巻く外部環境を分析し、長期・中期のビジョン達成するための中期の課題を立案している。また、単年度における園の事業計画においては、年度の振り返りから次年度の課題を明確化している。今後は課題解決に向けた道筋を具体的なアクションプランとして可視化していくことで、事業計画についてもPDCAの体制を確立できるとよいと思われる。引き続き計画のブラッシュアップに取り組むことを期待したい。</p>

<p>(評価を受けて、受審事業者の取組み)</p> <p>今回、第三者評価を受けて自園の課題を再確認することができました。チャレンジキッズの保育を行う中で大切にしている主体性や環境、遊びの部分で良い評価をいただけたのは職員のやる気にも繋がっています。</p> <p>これからの課題としては、専門リーダーをはじめ各保育士の役割の充実を図り、保育士一人ひとりがより良い保育をできるような環境にしていくこと、その為に園の年間計画をしっかりと職員との話し合いを重ねながら全体で共有していきます。また、課題のひとつである子育て支援においても、地域の方との接点を持つ機会を増やしていき、より身近に感じてもらえるような工夫をしていきます。法人全体としての中・長期計画、PDCAサイクルやアクションプランにおいても本部と情報共有しながら具体的な計画策定と着実な実行に努めます。いろいろな視点でご意見や助言をいただいたことを大切に活用し今後につなげていきます。</p>

福祉サービス第三者評価項目（保育所等）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目			
				☑実施数	☐未実施数		
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	4		
				2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3		
		2 計画の策定	計画の適正な策定	3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	7		
				4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	4		
		3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	3		
				6 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	7		
		4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	7 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	5		
				8 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	4		
				9 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5		
				10 全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、こどもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	3		
11 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4						
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	12 利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4		
				13 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4		
			利用者意見の表明	14 教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	2	1	
				15 提供する教育及び保育の標準化	4		
		2 教育及び保育の質の確保	教育及び保育の質の向上への取り組み	16 保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	2		
				17 教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4		
		3 教育及び保育の開始・継続	教育及び保育の適切な開始	18 保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	4		
				19 全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5		
		4 子どもの発達支援	教育及び保育の計画及び評価	項目別実施サービスの質	20 こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	6	
					21 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5	
22 1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5						
23 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	5						
24 身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	4						
25 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	6						
26 特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	6						
27 保育時間の長いこどもに対して配慮がなされている。	4						
28 家庭との連携が十分図られている。	3						
29 地域社会との連携が十分図られている。	3						
30 家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	3						
子どもの健康支援	31 こどもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。			3			
	32 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。			4			
	33 食育の推進に努めている。			5			
				食育の推進	33	5	

5	安全管理	環境と衛生	34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	3	
		事故対策	35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4	
		災害対策	36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	6	
6	地域	地域子育て支援	37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	4	1
計					157	2

項目別評価コメント

(利用者はこども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化され、職員に周知・理解されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針が法人・保育所等の内部文書や広告媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を会議や研修において定期的に取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>WEBページには理念や保育方針、実施しているプログラムなどがわかりやすく記載されている。事務所には保育理念、保育目標、運営方針を掲示し、職員がいつでも見ることができる。法人が運営する全保育園では、毎年度、保育目標を共有するための取り組みが1年間を通して実施されており、当園では年3回の園ミーティングにおいて、目標について話し合い、各職員の考えを出し合って保育の方向性をすり合わせている。話し合うことによる浸透と実践への反映が促されており、結果として保育理念や目標は日常の保育の中で意識され、実践につながられている。</p>	
2 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 契約時等に理念・方針が理解しやすい資料を作成し、分かりやすい説明をしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>入園時には保護者に向け、「園のしおり兼重要事項説明書」を用いて保育理念、保育方針を説明している。また、年2回開催し、各クラスの保護者代表や民生委員、本社社員、園長等が出席する「運営委員会」では、1回目に各クラスの運営等について説明し、2回目はそれまでの活動や取り組み、子どもの成長について保護者に伝えている。日常の中では、保護者向け連絡アプリや毎日のお知らせ(幼児は全体向け、0～2歳児は個別の連絡)で保育の実践面について保護者に周知をしている。</p>	
3 事業計画が適切に策定され、計画達成のための重要課題が明確にされている。また、事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/> 中・長期事業計画を踏まえて策定された事業計画が作成されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業環境の分析及び現状の反省を踏まえ、理念・基本方針の具現化を図るための重要課題が明確にされている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営の透明性の確保に取り組んでいる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員等の参画や意見の集約・反映のもとに策定されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 方針や計画、課題は会議や研修会等にて定期的に説明し、全職員に周知されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人を取り巻く外部環境を分析し、長期・中期のビジョン達成するための経営課題を抽出して、中期の戦略課題を立案している。中期プランは正職員全員が参加する3月のキックオフミーティングで周知されている。また、園の単年度事業計画においては、年度の振り返りから次年度の課題を明確化し、職員がミーティングで話し合い、意見を出しあって実現可能な目標を設定し、毎月の乳・幼児ミーティングで課題を振り返り、実践につながられている。</p>	
4 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的な研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>年度の課題と課題の解決に向けた実施事項は事業計画に示されている。職場環境づくりでは、毎日ミーティングをする時間をつくって職場のコミュニケーションを促進し、職場の人間関係にも注意を払うことで良好な職場環境づくりとその維持がされている。定期的な面談のほか、個別に声掛けをおこなって職員個々の仕事の状況や心情などを把握することに努め、また、職員個々が年度の目標設定をする際は、目標と一緒に考えて四半期に1度程度状況を聞き取り、そのほか、毎月設定する目標に対する助言がされている。これらの取り組みにより職員個々の状態をより詳しく把握して対応することができている。</p>	
5 全職員が遵守すべき法令や倫理を明示し周知している。	<input checked="" type="checkbox"/> 遵守すべき法令や倫理を文書化し、職員に配布されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員を対象とした、法令遵守と倫理に関する研修を定期的実施し、周知を図っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> プライバシー保護の考え方について、職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人が作成したコンプライアンスハンドブックとルールブックがあり、職員には入社時に配布し説明がされている。ルールブックには個人情報保護やプライバシーへの配慮などが記載されており、入社時の説明に加え、園での勤務開始時に一つひとつの項目について説明がされている。また、毎年度、子どものプライバシーに関する研修が園内で実施されている。</p>	

6	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> ICT化の促進や保育補助者の活用等により、業務効率化を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 記録業務、行事、会議等の簡素化などにより、業務改善を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が相談をしやすいような組織内の工夫をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得、ワーク・ライフ・バランスに配慮した取り組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者との連絡帳や計画・記録書類等でICT化を推進しているほか、休憩時間の工夫をして毎日の会議(話し合い)時間をつくり、会議は15分以内で実施するなど、業務の改善および効率化が図られている。 休暇や時間外労働については本社のシステムで管理している。有給休暇は入社当初に付与しており、消化率100%が達成されている。また、令和6年度からは職員の声を反映し、時間単位の有給取得ができるよう休暇制度を改定している。そのほか、持ち帰りの仕事はしないことを取り決めるなど就業環境の向上に努めている。 人員配置については基本的に園内で調整するが、調整が難しいときは流山エリアにある系列園3園(本園、分園、第二園)で調整しており、人員配置の「体制表」で3園の状況を把握し、保育の質を確保するために必要な人員の配置をしている。</p>		
7	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> 人材確保・定着・育成の方針と計画を立て実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職務の権限規定等を作成し、職員の役割と権限を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価が公平に出来るように工夫をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>人材確保・定着・育成については中期的な方針と計画を立てている。職員の役割・責任については職務分掌表およびキャリアパスに示して職員への周知がされているほか、分野別リーダーの役割を明確に定義して役割に応じた職務の遂行が促されている。人事評価の評価基準や評価手法等については人事制度ハンドブックが作成されており、キャリアパスと併せて職員に周知がされている。また、年度当初の職員面談時に評価の仕組みについて説明がされており、次年度は変更箇所について周知をする予定もある。 人事評価については本部と園長が評価基準のすり合わせを行い、公平性の確保に努めている。また、面談時には職員個々の評価結果と課題を明確に伝え、次期の仕事に前向きに取り組めるよう配慮している。</p>		
8	必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉サービスの提供に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について、具体的な計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法人(福祉施設・事業所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
<p>(評価コメント)</p> <p>福利厚生面の充実化等、職場環境の整備や、職員のキャリアアップ支援、評価制度の運用と処遇改善の活用など、中期で人材育成と定着に関する戦略課題を明確にしている。また、採用については単年度の事業計画に方針を記載して取り組んでいる。人員体制については、毎年職員の勤務継続に関する意向を調査し、調査結果に基づき法人として採用活動を工夫して人員確保に努めており、配置については、加配や各種加算などを考慮、またパワーバランスなども総合的に判断し、計画的に体制を構築している。</p>		
9	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期の人材育成計画がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 職種別、役割別に能力基準を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別育成計画・目標を明確にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> OJTの仕組みを明確にしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>キャリアパスには等級毎の職責と職務内容、求められる知識と能力、取り組み姿勢を明記し、キャリアパスに沿った人材の育成に取り組んでいる。職員個別に受講する研修は個々の役割に応じて個人が申告もしくは園から打診し、目的を明確にした受講がされている。 園内研修は安全確保や保育実践、保健などの分野を網羅して毎月実施されている。また、園外(外部)研修についても年間計画を立て計画的に実施されている。外部研修のうち、キャリアアップ研修については、正職員は全員が全分野を終了できるよう計画的な受講がされている。そのほか、園が推進する保育のベースとなるハンガリー式保育については、国内の団体が主催する研修に参加したり、講師を園に招いて研修を実施し、保育実践への浸透が図られている。 新人職員の指導については、新人が先輩とともに仕事をし、毎週の目標設定とレポート提出をおこなって、1か月の間、園長、主任、先輩社員がアドバイスをして育成するOJTの体制がある。</p>		
10	全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的な人権への配慮について定期的に勉強会・研修を実施している。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員の言動、放任、虐待、無視などが行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。
<p>(評価コメント)</p> <p>子どものプライバシーに関する研修の中で虐待についても取り上げており、虐待防止ガイドラインを用いて通報義務や視診の留意点等について、クラス単位または乳幼児ミーティングで話し合っている。職員は日々の保育実践について毎月目標を立てて自らを振り返っており、園長が確認とフィードバックをしている。また、主任以上の職員が普段から個々の職員を把握することに努め、個々の状況に配慮し、課題がある場合にはすぐに改善できるよう体制を整えている。</p>		
11	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の利用目的を明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員(実習生、ボランティア含む)に対し、個人情報保護について研修等により周知徹底している。
<p>(評価コメント)</p> <p>WEBページと園のしおり(重要事項説明書)にプライバシーポリシーを掲載し、個人情報の利用目的や開示についても案内がされている。利用者の個人情報に関する書類や電磁記録については内容により閲覧を制限し、保護と共有がされている。 個人情報の扱いについては、ルールブックに記載があり、園に配属された後に、職員同士の会話や写真の取り扱い、SNSの利用、保護者との関係性のあり方などについて、ルールブックに沿った説明をして周知徹底がされている。</p>		

12	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<input checked="" type="checkbox"/>	利用者満足度を把握し改善する仕組みがある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者・家族が要望・苦情を言いやすい体制を整備している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
(評価コメント)			
毎年年度末の3月には保護者アンケートを実施し、得られた意見と回答および意見に関する方針を掲示して周知するとともに、次年度に向け運営等の改善を図っており、保護者の意見を改善につなげている。また、年に2回開催している運営委員会では、保護者との意見交換を行う機会を設け、得られた意見は園内で共有し必要に応じた改善が実施されている。そのほか、園内には「意見箱」も設置されている。日常のかかわりの中で保護者から相談があれば、その都度対応し記録している。また、在園児向けの子育て相談窓口を年度はじめに保護者向け連絡アプリで配信し、園内には年間を通して掲示して意見や要望の伝えやすさへの工夫がされている。			
13	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。
		<input checked="" type="checkbox"/>	相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
(評価コメント)			
重要事項説明書には相談・苦情窓口として園内、第三者委員、市の担当課の連絡先を明記し、苦情解決の流れや仕組みのフローを記載して、入園時に保護者への説明がされている。重要事項説明書にはオープンな苦情対応システムを整えることにより、問題の早期発見・早期解決を図る旨の説明がされており、苦情に対する園の姿勢が示されている。意見や苦情があったときは、苦情・意見報告書に記録し、職員間で共有し、改善に取り組んでおり、これは個人面談や日常の会話等、口頭で伝えられた内容についても同様である。			
14	教育及び保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、教育及び保育の質の向上を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。
		<input type="checkbox"/>	教育及び保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	自己評価や第三者評価の結果を公表している。
(評価コメント)			
毎年2～3月に、保育士の自己評価を職員各自が実施し集計されている。また、保護者アンケートと保育士の自己評価を踏まえて園の自己評価を実施し、その結果を公表している。自己評価を行う中で課題を発見した際には解決に努め、保育の質向上に向けて取り組んでいる。第三者評価については、今回が2回目の実施であり、前回受審時の評価結果については公表するとともに改善につなげられている。			
15	提供する教育及び保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の基本や手順が明確になっている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル見直しを定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
(評価コメント)			
各種マニュアルが整備されている。新人教育ではチャレンジキッズマニュアル(支援の基本等)を活用している。法人のマニュアルは月1回開催される法人の園長ミーティングで職員の意見等も踏まえて作成や改定の検討がされている。マニュアルの見直しについては、更新管理を園長が担当し、変更の必要が生じたときには速やかに実施している。園長は法人が運営するチャレンジキッズ保育園全体のマニュアル整備に関わっているため、常に最新のマニュアルかどうかを把握しており、遅滞なく更新がされている。内容に変更があったときは、ミーティングで最新情報を職員に周知している。			
16	保育所等利用に関する問合せや見学に対応している。	<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
(評価コメント)			
WEBページには「入園希望の皆様へ」というページを設けており、入園までの流れがわかりやすく説明されている。また、ページ内にエントリーフォームを設置して、問い合わせのしやすさへの配慮がされている。見学案内は年間を通して実施されている。希望者は多く、特に7月から11月にかけては大勢の見学がある。見学案内は基本的に月1回、土曜日に実施しており、1日につき20名ほどの見学がある。また、平日の保育内容の見学を希望する場合は再度、平日に見学してもらったり、申し込みは本園・第二園別に行うが、見学時はどちらを見学してもよい等、保護者のニーズに応じて柔軟な対応がされている。			
17	教育及び保育の開始に当たり、教育及び保育方針や内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の開始にあたり、理念に基づく教育及び保育方針や内容及び基本的ルール等を説明している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明や資料は保護者に分かりやすいように工夫している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育の内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
(評価コメント)			
新入園児への説明は個別に設定し、重要事項説明書を読み合わせて内容の確認をしている。園見学をしていない家庭には園で実施している保育の説明を丁寧に行い見学期の家庭は説明を省くなど家庭に合わせて柔軟に説明をしている。重要事項の内容については、確認後に同意書にて同意を得ている。また、説明時には園で用意した調査票を用いて入園前の子どもの様子や家庭の状況などの聞き取りを併せて行い保護者からの意向や要望を聞き取り記録している。その時に得られた情報は職員間で共有し新入園児が円滑に園生活に入れるよう努めている。			

18	保育所等の理念や教育及び保育方針・目標に基づき全体的な計画が適切に編成されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて作成している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画は、教育及び保育の理念、方針、目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
(評価コメント)			
<p>全体計画は児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針等の趣旨をとらえ、園の保育理念、方針のほか、年齢児ごとの目標や家庭支援、地域支援など必要な事項を網羅し作成されている。前年度は全体計画の内容を見直しており、今年度の全体的な計画には園で実践しているハンガリー式保育の考え方(「課業」の要素)を取り入れ、例えば、就学後の学習への向き合い方や自分から発信する力など、就学の準備段階として大切な非認知能力の育ちについて計画に反映させている。全体計画は職員間で共有され、理解が難しい点などがあれば本部まで伝えて確認がされており、今後更に自園に合致した内容とすべく、チャレンジキッズ各園との間で保育リーダーを中心に協議し、園長や本部職員も参加して話し合いが重ねられている。</p>			
19	全体的な計画に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	全体的な計画に基づき、こどもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	乳児、1歳以上3歳未満児、障害児等特別配慮が必要なこどもに対しては、個別計画が作成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、こどもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
(評価コメント)			
<p>全体計画に基づき各年齢児の年間カリキュラムや月案、個別月案が作成されている。週案は月案に組み込まれ日々の活動計画まで立てられて、振り返りは週毎、月毎に実施されている。園が取り入れているハンガリー式保育では課業に重きを置き、3歳児からは年間で課業計画を立て、毎月、季節や自然、生活に関するテーマを設けて活動をおこなっている。また、3歳未満児には個々の生活リズムの流れを「日課」として作成し、それを元に各クラスの生活の流れが考慮されている。個別の月案は個々の発達を重要視して3歳以上児にも立てられており、個々の課題を明確にして職員皆で課題に向き合い日々の援助をしている。担任同士は毎日必ず話をする時間を設け、日々の保育を振り返っている。</p>			
20	こどもが主体的に活動できる環境が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりを受容し、こどもの状態に応じた保育の内容や方法に配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	好きな遊びができる場所が用意されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自由に遊べる時間が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育者は、こどもが主体性を発揮できるような働きかけをしている。
(評価コメント)			
<p>子どもが何かを「やりたい」と発した時には、実現するための準備を保育者が検討し環境を整えている。どのクラスも微細遊びや粗大遊び、構成遊びやごっこ遊びなど、さまざまな遊びができるコーナーが充実し、子ども達は自分で好きなコーナーを選び遊び込んでいる。3歳以上児の保育室では、コーナーにいくつかの素材を置き、それを組み合わせて子ども達の自由な発想で遊びが展開していけるようにするなどの環境の工夫がされている。また、手に取れる場所に水分補給のジャグや紙コップを常に置き、子ども達がいつでも自分が欲するタイミングで水分補給が行えるようにしているなど、子ども達が主体的に行動できるよう環境を整えている。</p>			
21	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの状態に応じて食事や睡眠を十分に取ることのできる機会や環境が確保されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	十分に体を動かすことのできる機会や空間が確保され、こどもの個人差や興味、関心に沿った保育室の環境を整えている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	語りかけや歌いかけ、体の動きや表情、発声や喃語等への応答など愛情豊かで受容的・応答的な関わりをしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
<p>3歳未満のクラスでは担当制保育を取り入れ、0歳児の援助を行うときには1対1で丁寧に関わっている。ハンガリー式保育では、3歳未満児の日課において一人ひとりの生活リズムを大切にされており、それを踏まえて個々の生活リズムに沿った保育が行われ、子どもが安心して生活ができるよう食事や睡眠の場所なども意識して環境づくりがされている。0歳児室はさまざまな発達段階の子どもに合わせた玩具棚の設定や、運動遊びができる場所の設定がされており、それぞれの子どもが楽しめる環境を整えている。設定遊びでは多くの子ども達が興味を示し保育者が穏やかなトーンで話しかけ、応答的な関わりの中で感触を楽しむ姿があった。また、授乳では保育者と1対1でゆったりとミルクを飲むなど、個々のリズムに配慮した保育が行われている。保護者との連絡・連携については、3歳未満児は保護者と毎日、連絡アプリでその日の生活の様子を伝えあっている。提供している離乳食や給食については写真データで提供しているなど、保護者が理解しやすいよう丁寧な情報提供がされている。担当者間の情報共有は毎日午睡時に行われている。</p>			
22	1・2歳児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/>	基本的な生活習慣等について、こどもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	友だちの気持ちや友だちとの関わり方を丁寧に伝えている。(こどもの気持ちを代弁して、お互いの気持ちに気づけるように関わり方を丁寧に伝えている。)
		<input checked="" type="checkbox"/>	周知の環境や人・ものへの探索行動を存分にできるよう、安全に配慮しながら環境を整備し、様々な遊びを取り入れている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
(評価コメント)			
<p>排せつや着替えなどを個々の子どもがじっくり落ち着いてできるよう環境を整えたり、出来たことを一つひとつ認め子どもが自ら行いたくなるよう働きかけするなど、1、2歳児の発達や特性を考慮し、身のまわりのことを自分で行いやすいよう環境の工夫をして保育にあたっている。友達とのトラブルの際には自我が芽生えている子どもの気持ちを十分に受け止め「こうしたかったのだね」と共感し、否定的な言葉を使わない事や謝ることを強制しないよう職員間で意識を共有して保育している。保育者の手作り玩具や既製の玩具、年上のクラスの子どもが製作した玩具など、さまざまな玩具を活用して遊びの環境を作り、バランス感覚を養いながら遊びを楽しめるよう環境設定を工夫したり、友達と一緒にレンガを積み上げる、指先でブロックを重ねるなどさまざまな経験ができるよう環境の考慮がされている。発達のチェックは各クラスで毎月行い記録して職員間で共有している。</p>			

23	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> 基本的な生活習慣等について、自分でやり遂げたという満足感を味わわせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の子どもと多様な関わりがもてるように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもの興味や関心を引き出すことができるよう、こどもの能動性を引き出す自由な空間や物を配置している。 <input checked="" type="checkbox"/> 送迎時や連絡帳等を通じて保護者と密接な連携を図り、保護者からの相談に応じるなど保護者への支援に務めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの生育歴や発達過程等が担当職員間で共有されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>3歳児以上のクラスでは課業を中心に体操、環境認識、文学、わらべ歌、美術、数の6つの領域を意識した活動を実施している。毎月テーマを決めそれに合わせた歌や絵本、製作、活動などを行い各領域の学びへとつなげている。3歳～5歳児の保育室の一角には今月のテーマに関連した写真の掲示や絵本、図鑑の展示があり、子ども達が自由に見たり触れたりしながら、自ら興味や関心を持ってやるような環境が作られている。また、月に2回、体操や英語を外部講師から学び体を動かして運動機能を高める事や、外国籍の講師や他の言語に触れるなど、さまざまな経験ができる機会が設けられている。</p> <p>3歳児以上のクラスでは、日々の活動の様子や給食とおやつの写真を保険者向け連絡アプリを使用してクラスごとに一斉配信をしている。また相談や伝達事項がある時は連絡アプリを用いて個別に伝え合っている。</p>		
24	身近な自然や地域社会と関わられるような取組みがなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> こどもが自然物や動植物に接する機会を作り、教育及び保育に活用している。 <input checked="" type="checkbox"/> 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節や時期、こどもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常教育及び保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>3歳児以上のクラスでは稲の栽培をおこなったり、土の掘り起こしから種まきまで子どもたちで行い草花を育てる経験を取り入れている。保育室にそれらの観察記録を掲示し、植物が育っていく様子をを学んでいる。園で取り組んでいる課業では春夏秋冬をテーマにしたり、動物や植物、天気などをテーマにして、その時期ならではの遊びを楽しみ、学びへと繋げている。また毎月、その時期に合わせた行事を取り入れ季節や雰囲気を感じたり、行事食を味わうなど、子ども達の生活に変化や潤いを与える活動が実施されている。近隣の公園マップを作り、天気が悪くなければ戸外に出かけて遊ぶ機会を設けたり、近隣の老人施設と交流を持ち、異世代の人たちと関わる機会を持つなど、地域に出かけてさまざまな経験ができるよう努めている。</p>		
25	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合、危険のないように注意しながら、子ども達同士で解決するように援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが役割を果たせるような取組みが行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが自発性を発揮し、友だちと協同して活動できるよう援助している。 <input checked="" type="checkbox"/> 異年齢のこどもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>けんかや気持ちのぶつかり合いが発生した場合は子ども同士のやり取りを見守り、解決が難しそうな時はお互いの言葉を伝える手助けをしている。保育者はクラス全体を観察し、トラブルになりそうな時や仲間外れが起きそうな様子を察してさりげなくフォローを入れるよう意識して援助している。また、社会的ルールについては、園内でのルールを保育者が言葉で伝え、子ども自身が考え自然に身につくよう環境設定に配慮している。例えば、園内で不便なことがあった時に子ども達が解決案を提案し、行動に移した事例もある等、環境の中で主体性が育まれており、保育者もその姿を大切にしている。異年齢保育については、4、5歳児は縦割り保育が行われ、園外に出かける時には3歳児と5歳児が手をつないで歩くなど、年上の子とも年下の子とも関わり合う機会も設けている。</p>		
26	特別な配慮を必要とするこどもの教育及び保育が適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/> こども同士の関わりに対して配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 個別の指導計画に基づき、保育所等全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 障害児教育及び保育に携わる者は、障害児教育及び保育に関する研修を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>配慮が必要な子どもについては「困っているときは一緒に行う」という考え方で保育にあたっており、個々に応じた課題の抽出や目標設定などが個別指導計画の作成過程で話し合われている。市の巡回指導があり、その際には発達について相談し、関わり方について具体的なアドバイスを受け、その内容を職員間で共有している。実践後には子どもの姿の変化について話し合い、実施した援助を振り返っている。また、各関係機関や家庭と連携して子ども個々にあった支援をするに取り組んでいる。そのほか、キャリアアップ研修の障害児保育研修を職員が受講し、園内で伝達して情報を共有している。</p>		
27	保育時間の長い子どもに対して配慮がなされている。	<input checked="" type="checkbox"/> 担当の職員が変わる場合には、引き継ぎが適切に行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 担当職員の研修が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> こどもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢の異なる子どもが一緒に過ごすことに配慮している。
<p>(評価コメント)</p> <p>朝の受け入れから夕方の引き渡しまでの連絡事項は送迎者名簿への記入と口頭で引き継がれ保護者へ伝えられている。朝、夕の延長保育はシフトを組んで職員が担当し、月案に記載されている延長保育時の配慮事項や注意などを念頭に置き保育にあっている。延長保育は3歳未満児の保育室で行われ、3歳児未満の子ども達が遊びたいときにすぐに年齢に応じた玩具を手にとれるような環境にしている。3歳以上児はぬりえや折り紙など机上で遊べるものを楽しんでいる。また、子どもからリクエストがある時には小さな子であれば誤飲の心配がないかを確認の上で希望する玩具を用意するなど、安全を考慮し楽しく過ごせるようにしている。3歳以上児が自分のクラスで遊びたい時には保育者が付き添って出かけるなど、子どもの意志を尊重した対応がされている。長時間の保育で子どもに疲労が見られる時にはラックや布団、マットなどを用意し、眠ったり、横になれるような環境を準備して子どもの疲労に配慮している。</p>		

28	家庭との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、こどもの発達や育児などについて、個別面談、教育及び保育参観、参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、ひとり親家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭について、保護者の意向や思いを理解できるよう努めるとともに、必要に応じて個別の支援を実施している。
(評価コメント)			
月に1回、子育て相談を開催している。また、今年度から月4回、出入りが自由な「オープン参観」の日を設けて保護者が保育環境を確認できる機会を設けている。「オープン参観」では参観日の頻度を多く設けたり外部講師の指導日に実施をするなどの工夫をしており、多くの保護者の参加がある。また、SNSで保育の様子を発信したり、保護者向け連絡アプリによる毎日の保育の配信、給食の写真の配信等、細やかに情報を提供して家庭との情報共有をして、保育の「見える化」に取り組んでいる。個人面談日は特に設けていないが、保護者から面談の希望がある時や、育児の相談がある時にはその都度受け付けて対応している。			
29	地域社会との連携が十分図られている。	<input checked="" type="checkbox"/>	小・中学校などの生徒の体験学習や実習を受け入れたり、高齢者との交流を行ったりするなど、地域社会との交流を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	就学に向けて、保育所等のこどもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、認定こども園園児指導要録及び保育所児童保育要録などを保育所等から小学校へ送付している。
(評価コメント)			
近隣の中学校の職場体験を受け入れたり、高齢者施設と交流を持ち子ども達がわらべ歌を披露したり、高齢者が制作した紙コップ風鈴をプレゼントしてもらうなど、さまざまな年代の人と関わる機会がある。幼保小の連携では、年長児が小学校に訪問して「生活」の授業を受けるなどの交流があり積極的な連携が図られている。また、1年生の担任と年長児の担任が情報交換を行い、年長児の担任が小学校へ出向き1年生の子どもの姿を確認したり、1年生の担任から小学校の様子を聞いて、就学後に子どもが困らないよう生活習慣や学習に向けた支援が就学前に実施されている。保育所児童保育要録は担任が作成し年度末に各小学校へ郵送しているが、要録以外に伝える必要があることは、小学校と個別に引継ぎをしている。			
30	家庭での虐待等権利侵害の疑いのあるこどもの早期発見・早期対応に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの心身の状態を観察し、家庭での不適切な養育の兆候や、虐待の把握に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	家庭での不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	虐待被害にあったこどもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
(評価コメント)			
朝の視診では子どもの観察を行い傷などを見つけた時には保護者に確認するようにしている。送迎時には保護者の様子や気にかけて、不適切な関わりや兆候が見られた時には送迎時の様子や子どもが発する言葉や行動を観察し、虐待の早期発見に努めている。虐待が疑われる時には園長、主任に報告し、記録をとる流れができており、園全体で観察や見守りを行い、市の担当課に対応についての相談などを行う体制がある。虐待通報のフローチャートは事務所内の見やすい場所に掲示されており、虐待発見時はフローに従い行動できるよう準備されている。			
31	こどもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等について把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	保護者からの情報とともに、登所時及び教育・保育中を通じてこどもの健康状態を観察し、記録している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し必要な取り組みを行い、保護者に対して必要な情報を提供している。
(評価コメント)			
年齢児毎に年間保健計画を立て、健康について子ども達に身に付けてほしいことを保育に取り入れて実践しており、例えば、体操教室では運動による身体の変化などを伝え、子ども自身が自分の身体や健康について興味を持てるよう取り組んでいる。個々の子どもの健康に関する配慮事項を共有して保育にあたっており、個別の健康状態に関する詳細を表にして職員に周知するとともに、朝の受け入れから保護者へ引き渡すまでの体調変化については送迎者名簿に記録し、職員間での共有や保護者への伝達が行われている。SIDS対策では、午睡時は年齢児毎に決められた間隔で午睡チェックをおこなって予防に努めている。また、入園説明時の面談でSIDS予防に関する園の取り組みを伝え、予防月間にはポスターを掲示し保護者に注意喚起をして必要な情報提供するとともに、園内で職員研修を実施して対応力の強化に取り組んでいる。			
32	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	教育及び保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、そのこどもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やこどものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもの感染・疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
(評価コメント)			
感染症発生時における業務継続計画(BCP)が策定されている。感染症が発生した場合にはガイドラインに沿って対応しており、感染症発生時のほか、急な体調変化時、事故発生時の対応手順をフローチャートに記載して発生時に迅速な対応ができるよう体制が整えられている。保護者には、園内で感染症が発生した時には連絡アプリで周知するとともに、詳しいお知らせを園内に掲示して注意喚起をしている。保健に関する研修は姉妹園に在籍する看護師資格を持つ職員が担当しており、感染症予防や熱中症対策、熱性痙攣等について職員が学んでいる。エビペンの取り扱いについては皆で動画を視聴し使用方法を学ぶ等、職員一人ひとりが対応できるよう努めている。			

33	食育の推進に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	食育の計画を作成し、教育及び保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、こどもと調理員との関わりなどに配慮している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	体調不良、食物アレルギー、障害のあるこどもなど、一人ひとりのこどもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のあるこどもの誤飲防止など細かい注意が行われている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
(評価コメント)			
<p>ランチルームの大きな窓からは給食がつくられる様子や調理をする職員の姿がよく見え、毎日の食事への興味を高められる環境がある。食事は自分が食べられる量を自己申告してもらっており、食事が苦痛にならないように留意している。</p> <p>食育は年間で計画を立て、年齢毎の発達に応じた食育が実施されている。例えば、ランチルームの壁に大きな日本地図と郷土料理を掲示し、日本の地域や食文化に関心が持てるよう工夫したり、栽培でさまざまな野菜を育て収穫した野菜の断面を観察したり、野菜スタンプにしたり、収穫した日に同じ野菜を使用した給食を提供して味わうなど、子ども達が食に興味を持てるよう工夫して食育を実施している。</p> <p>アレルギー対応では、三大アレルゲンを使用しない給食を提供し、皆が同じ給食を楽しめるよう配慮がされている。ただし、食物アレルギーを持つ子どもの食器の色は変えており、本人が自覚することで就学後や災害時など園外の食事で誤食が起きないように配慮している。</p>			
34	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	室内外の整理、整頓がされ、こどもが快適に過ごせる環境が整っている。
(評価コメント)			
<p>園内外の設備管理は安全対策係を設置して定期的に点検し、環境や危険個所の改善をしている。衛生面では、例えば、ランチルームには歯ブラシ殺菌庫を置き、給食後に使用する歯ブラシの衛生に留意し、また、洗面台の壁面には手洗いポスターを掲示して手の洗い方を伝え、大人が見守り声をかけて衛生面の習慣づけがされている。3歳未満児保育室にある玩具の消毒は午睡の時間帯に毎日実施している。</p> <p>園舎の清掃は手の空いている保育者が行うことになっており、毎日の清掃により、清潔が保たれている。</p>			
35	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	設備や遊具等保育所等内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
(評価コメント)			
<p>安全に関する各種マニュアルを整備し、緊急を要する行動の手順についてはチャート化して迅速かつ的確に対応できるよう準備がされている。</p> <p>事故予防では、事故報告書に状況や経緯、原因と今後の対策を詳しく記入し、また、ヒヤリハットを収集して対策に取り組んでいる。そのほか、クラス別の事故対策チェックリストや置き去り防止チェックリストを用いて、日々の保育における安全確保に努めている。安全対策チームでは、2週間に一度、様々な視点で話し合い、その内容を園全体で共有して事故防止に努めており、お散歩マニュアルの改善などが実施されている。また、園内では救命救急講習やヒヤリハットの研修を実施し、職員の対応力を高めている。</p>			
36	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<input checked="" type="checkbox"/>	災害発生時における業務継続計画(BCP)が策定され、定期的な見直しを実施するとともに職員に周知されている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	定期的に避難訓練を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
(評価コメント)			
<p>安全点検や避難訓練など安全確保に関することは安全計画に記載して着実に実行している。大規模災害時の事業継続計画(BCP)を作成し、職員の役割、安否確認、参集ルール、保護者との連携などについて明確にしている。今回の調査時点では、職員の帰宅経路など具体的なリスクの洗い出しを進めているところであり、また、BCPの検証については今後体制を整える予定となっている。避難訓練は地震・火災について毎月実施するほかに、津波、水害、土砂災害、不審者対応訓練を実施している。また、引き渡し訓練を年2回実施している。消防署の訪問は年1回あり、消防署の立ち合いのもと、消火訓練と119の通報訓練を実施している。そのほか、避難時に子どもが履く靴のサイズを毎月確認している等、細部にも注意して子どもの安全確保策の向上に努めている。</p>			
37	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育てニーズを把握している。
		<input type="checkbox"/>	子育て家庭への保育所等機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	地域の子育て支援に関する情報を提供している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	こどもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
(評価コメント)			
<p>玄関には近隣にある公園の詳細や公衆電話がある場所など、子育てに関する情報を掲示して保護者に周知している。</p> <p>園見学の案内時にはアンケートを取り、また、見学者との会話から地域における子育てのニーズ把握に努めている。園として地域の子育て家庭の支援に取り組む意向があり、現在は見学案内時に子育ての悩みや相談などがあればアドバイスを行う程度であるが、将来的な構想はあり、実施するにあたり課題を抽出している段階である。今後も検討を重ねて地域のニーズに応える支援が実施されることを期待したい。</p>			